

平成22年度 事業計画書

事業名	内容	申請書	実績報告書	助成額	事業費	
農業関係事業	青年農業者農業研修事業	国内外において、新規品目の導入、最先端技術の習得、高付加価値化の検討、消費者動向調査等を目的とし、青年自ら計画、実行する視察研修に対して助成し、青年のチャレンジ精神を育成する。	毎年7月31日まで	事業終了後30日以内	事業費の1/2以内 (一人当たり上限を100,000円)	100,000 × 20人 計 2,000,000円
	農業青年プロジェクト活動等支援事業	農業青年のグループ員の共同研究活動やグループ活動等に対して助成し優れた農業後継者を育成する。	毎年7月31日まで	事業終了後30日以内	(単協) 事業費の1/2以内 (上限150,000円) グループ定額+会員割 (30歳以下のみ対象) 30,000円+1人1,000円	40集団 600人(30歳以下) 小計 1,800,000円
					(専門部活動) プロポーザル事業 事業費の1/2以内 1グループ100,000円を上限 (18グループ)	18集団 小計 1,800,000円
					共同プロジェクトを九州大会において発表する単協もしくは専門部活動へは、上記要件と別枠で100,000円加算するものとする(用途は、旅費およびプロジェクト活動費に限る)	九州大会発表 1集団 小計 100,000円
					(地区連) 事業費の1/2以内 100人未満 160,000円 100人以上 480,000円	7件 160,000 × 6地区 480,000 × 1地区 小計 1,440,000円
					(原連) 事業費の1/2以内 県青年農業者協議会 380,000円	1件 380,000 × 1地区 小計 380,000円
計					計 5,520,000円	
担い手活動促進事業	各組織が連携し農業青年を育成するとともに、地域活性化並びに男女共同参画に係る事業を実施する。	毎年7月31日まで	事業終了後30日以内	事業費の1/2以内 JA女性組織協議会 400,000円 JA青年部 400,000円 県農業士協議会 300,000円 地区農業士協議会 300,000円	10件 400,000 × 2団体 300,000 × 8地区 計 3,200,000円	
小計					10,720,000円	
水産関係事業	漁業士等実践活動支援事業	漁業士会等への支援を行い、漁村優の活性化を図り優れた漁業後継者を育成する。	毎年7月31日まで	事業終了後30日以内	○漁業士実践活動 定額 ○漁業士視察研修 事業費の7/10以内 ○グループ活動支援 事業費の5/10以内	3,770,000円
	若い漁業担い手視察研修事業	県外、海外の様々な視察又は研修を行う。	研修実施2ヶ月前まで	事業終了後30日以内	事業費の7/10以内 (一人当たり上限100,000円)	200,000円
小計					3,970,000円	
合計					14,690,000円	